

クリア問題

五月(臯月)

月 日 名前 ( )

言葉のきまり  
(主語と述語)

一 長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。 [ ] の中の文で、主語を示す 〰 部ア・イの述語に当たるものを、――線部1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

(例) みんなが植えた木は、どんどん育った。

(主語)

(述語)

わたしは、アサガオの青い花が次から次へと さいて、やがて黒い色をした  
たくさん種ができるまでの様子を毎日 観察した。



二 次の [ ] の中の――部には、二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして、二つの文に分けて書きましょう。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。

(新美南吉「ごんぎつね」による)

Two vertical writing boxes for the second question, each containing the text 'ごんは、' at the top.

クリア問題

五月(皐月)

月 日 名前 ( )

言葉のきまり  
(主語と述語)

一 長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。 [ ] の中の文で、主語を示す ~~~~~ 部ア・イの述語に当たるものを、—— 線部1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

(例) みんなが植えた木は、どんどん育った。

(主語)

(述語)

ア わたしは、アサガオの青い 花が次から次へと さいて、やがて黒い色をした  
たくさんの種が できるまでの様子を毎日 観察した。



「わたし」が  
したことはどれ?

「花」の様子は何?

二 次の [ ] の中の —— 部には、二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして、二つの文に分けて書きましょう。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、~~う~~しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、~~う~~辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。

ここで切れるね。

(新美南吉「ごんぎつね」による)

ごんは、

ひとりぼっちの小ぎつねでした。

ごんは、しだのいっばいしげった木林の中に

あなをほって住んでいました。

↑ どんな

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称（実施学年）	正答率（％）	
		（左：全国）	（右：長野県）
一	平成 23 年度 全国学力・学習状況調査（6年）	62.2	66.1
二	平成 19 年度 全国学力・学習状況調査（6年）	57.8	59.2

〔参考〕出題の趣旨

一	文の中における複数の主語と述語とを照応することができるかどうかをみる。
二	物語の主人公について一文で書かれた内容を理解し、一文を二文の構成にして書き換えることができるかどうかをみる。

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率（％） （全国）	自校の反応率	正答
一	1 アの述語に 4，イの述語に 1 と解答しているもの	62.2		◎
	2 アの述語に 4 と解答しているが，イの述語に 1 と解答していないもの	20.0		
	3 アの述語に 4 と解答していないが，イの述語に 1 と解答しているもの	7.0		
	9 上記以外の解答	9.2		
	0 無解答	1.6		
二	（正答の条件） 次の条件を満たして，二文に分けて書いている。 ①「(ごんは,) ひとりぼっちの小ぎつねでした。」 ②「(ごんは,) しだのいっぱいしげった森の中に，あなをほって住んでいました。」 //////////////////////////////////// （正答例） 「ひとりぼっちの小ぎつねでした。」「しだのいっぱいしげった森の中に，あなをほって住んでいました。」			
	1 条件①，②のいずれも満たして解答しているもの	57.8		◎
	2 条件①は満たしているが，条件②は満たさないで解答しているもの	7.8		
	3 条件①は満たしていないが，条件②は満たして解答しているもの	9.9		
	4 条件①，②のいずれも満たさないで解答しているもの	20.0		
	9 上記以外の解答	0.1		
	0 無解答	4.4		